

令和7年度

第1回

学校関係者評価委員会報告書

於：令和7年7月

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

第1回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和7年7月25日（金）13：30～16：00

場所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者：美容用品商業組合員（今井物産代表） 五味 寛雄先生

株式会社アーク代表（本校卒業生） 竹松 正弘先生

小原校長・桐山事務局長・小口教務主任

○小原校長より

職業実践認定校としての責任を持って学生達に今まで以上に満足してもらえる学校にしていくために、第三者評価を参考にさせて頂き、学校からの情報の発信もしていきたい。今後も引き続き、忌憚ないご意見宜しくお願い致します。

【議題】

1. 令和7年度第1回自己評価委員会報告

令和7年度自己評価・自己点検中間報告について（資料1）

令和7年度中間報告として、教育理念の2項目・学校運営の4項目・教育活動の3項目・学修成果の4項目・学生支援7項目・教育環境の3項目・学生募集と受け入れ2項目・法令等の順守の1項目・社会貢献1項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

また、評価4から評価3に下がった理由についても説明を行った。

公平な評価を今後も継続していくべきである。

今後の課題

- ① 学校管理システムの構築→8月両校交流研修会にて提案し具体化していく
- ② 国家試験学科対策の強化→学生指導の難しさはあるが、対応方法を考察し学年ごとの情報共有を強化
- ③ 学生募集方法の検討→特待生の条件、内容についてと、AO入試導入に向けて、他県の情報収集を行いながら、検討していく。
- ④ 校内防犯カメラ設置→現状を踏まえながら、今後検討していく。

（基準1）**総括** 令和7年6月16日 法改正に伴う新たな組織として学園理事・監事・評議員が結成された。

- ・職業実践専門課程によるカリキュラムも平成30年認可より7年目となり、授業に関わる講師にも卒業生が受け持つ機会が増え、参加する在校生の興味関心を引き付ける授業内容となる工夫も見られ、好循環が生じている。
- ・理事会部会として新たな教職員、講師の補充について、関係各所に協力を促し教員確保の手立てを進めている。

学校関係評価委員コメント 竹松委員より

先生方の努力はきちんと伝わっているので、継続して頑張っていってほしい。協力できることは協力していく。

学校関係評価委員コメント 五味委員より

人材不足について、ディラーとして各サロンや休眠美容師に声掛けしてみる。

今後の改善方策

全員合格を目指していく。学習習慣を身につけさせる必要があるため、各学期ごとテストのクオリティをあげていく
教員不足である。協力して頂けるとありがたい。卒業してすぐ教員というケースも考えている。

（基準2）**総括** 令和8年度4月より施行となる、文科省「学校教育法の一部改正」に関して長野県「学びの支援課」からの指示を伺いながら、課題を明確に共有して進めている。

- ・令和7年度の修学旅行について、理美容科は「表参道コレクション」と「ディズニーランド」を計画している。
BB科は全国コンテストの日程が重なったため、長野校と共に理美容科とは別日の日程で①アロマガーデン
②ボディワークの選択、テーブルマナーと「ディズニーランド」の計画で進めている。

- ・令和7年度入学生の約2割が通信制高校からとなり、日常的な生活習慣・学習習慣の定着が重要となっている。今後もこの傾向は続いていくと予想されるため、各クラス担任の指導力とともに学年全体で課題を共有できる指導体制を重視しながら進めている。
- ・美容科教師1名が7月より「文化論」の教育センター研修に参加する。
(オンデマンドリモート研修21回 対面講義5日間)
- ・令和8年度4月施行となる文科省による「学校教育法の一部改正」に関する改正項目と連動させながら、成績管理システムの導入を進めている。

学校関係評価委員コメント 五味委員より 適切に行われている。

学校関係評価委員コメント 竹松委員より

成績等のデータ化は必要である。情報共有が必須の時代である。

今後の改善策

特待生の在り方など、在校生満足度を第一に考え、引き続き対応していきたい。

(基準3)

- ・令和7年度美容科職業実践専門課程「選択授業」の教科として
① カット&カラー②フォト&メイク③ネイル④ブライダル
本校の卒業生も講師として関わることで、年々授業内容も在校生の取り組みも充実した「選択授業」の形となっている。併せて、「シャンプー&ヘッドスパ」等のサロン現場で即戦力となる実習内容を学校の特色として、周知を図っていく。
- ・令和6年度3月学園研修会にて、寿教育支援センターより講師を依頼して、学生指導に関する教職員研修を行った。
- ・令和8年度4月より施行となる、文科省「学校教育法の一部改正」に関して長野県「学びの支援課」からの指示を伺いながら、課題を明確に共有して進めている。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

シャンプー力はまだ不足である。人に接する時間をもっと増やした方がよい。先生方が、実践に近い手をもって、力加減を理解させてあげると良い。気持ち悪い技術も教えてあげるとよい。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

マツビのアットホームな雰囲気は魅力だと感じている

学生一人ひとりに向き合っている学校として継続していくべきである。

シャンプーヘッドスパ授業の協力できる講師探してみる。

今後の改善方策

読む力が弱い学生が多くなってきている。通信制高校希望者が増加傾向であることも踏まえ、時代に合った教育をし、在校生満足度を継続して向上していきたい。

選択授業シャンプーヘッドスパの講師を紹介してほしい。→五味さん対応

(基準4)

- ・本年度5月と6月2回の就職ガイダンスにおいて、改めて「労働条件通知書」に関する重要性和就職サロンと学校との卒業生に関わる共通認識が大切であると理解を促した。
- ・令和6年度後期 第51回理容師美容師国家試験の結果
美容科26期生 受験者73名 合格者66名 合格率90.4% (実技不合格1名、筆記不合格者6名、計7名)
理容科19期 受験者9名 合格者9名 合格率100%
- ・令和7年6月1日現在
休学者 美容科1年生1名 美容科2年生1名
退学者 美容科1年生4名
美容学校への進学動機として、「働くこと」「人間関係を構築すること」との関連に対する意識の低さが気になる。保護者の発言からも「本人の決定」に対しての異論がない。
学校説明、オープンキャンパス等の説明会においても「美容業は接客業である」旨強調していく。
- ・6月6日高校進路懇談会を開催した。進路担当8校の先生方に来校していただき、学校説明と在校生との懇談会を行った。美容学校の現状把握と共に、一部休退学者に関する情報共有にも活かされている。
- ・コンテスト対策として、卒業生からの指導を引き続き充実させていく。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

サービス業であるため、退学・休学者については進路変更も含め、早めに気づいて良かったのでは。
学生に寄り添っている学校であるから、大丈夫では。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

コミュ力のない人材は増えている。育てる環境、寄り添っていく居場所をつくる時代である。
マツビの良さは、アットホームな部分である。このまま継続して欲しい。

今後の改善方策

本校として大事にしている即戦力ある人材育成のできる学校という部分を、再確認し伝えていきたい。
接客業である。
コロナ以降、オンライン教育の影響から人間関係構築の難しさを感じている。エッセンシャルワーカーを育てる時代である。教職員においても、メンターが必要である。
今後も引き続き、チャレンジする学生たちのサポートを強化していきたい。

(基準5)

- ・年間計画に沿って、5月と6月に在校生を対象とした、就職ガイダンスを実施した。
 - ・令和7年度6月現在
 - ① 「給付型奨学金」1年生17名、2年生5名、計22名-10.0%
 - ② 「学生支援機構奨学金」1年生24名、2年生28名、計52名-25.7%
 - ③ 「多子世帯奨学金（暫定）」1年生4名、2年生5名、計9名-4.45%
- (6月末申し込み締め切りー8月採用認定)
- ・学校校医「塩原医院」により令和8年度2年生を対象とした「健康診断」を行うための準備を進めている。
 - ・令和7年度理美容甲子園地区大会エントリー
理容科 WD2名、MC2名、CB2名
美容科 WD5名、CT5名、UP5名、ME2名、N13名、計26名
(デッサン画5名、フォトコン4名ー提出済み)
 - ・エステティックコンテストエントリー2年生応用部門シード1名、1年生基礎部門1名、計2名
各部門の練習計画を組み立て、両校交流会も練習機会として参加準備を進めている。
 - ・令和7年度学生寮人数 女子寮：18名 男子寮：9名
 - ・今後の学生寮に関する運営については、学園3ヶ年計画の課題として、遠方からの入学動機を視野に入れ、より効率の良い方策を検討していく。
 - ・現在クラス担任による保護者連絡は、原則学校における電話対応としている。また、一斉送信の手立てとしてオクレンジャーによる緊急メールを活用している。
 - ・学生への連絡方法としては、2年生はLineを活用しているが1年生はClassroomを活用している。
 - ・職業実践専門課程に関する授業の講師として、卒業生の講師依頼を推進している。
 - ・4月11日(金)1年生対象の就職説明会をオリエンテーション時に実施

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

寮を維持していくむずかしさはあると思うが、学生支援という点では魅力的では。在り方は検討していくべき。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

健康診断を在学中にしておいてもらえると採用時にありがたい。(てんかん・精神疾患等)

今後の改善方法

寮維持の難しさもある。今後検討していきたい。住宅支援という形式も含め。
在校生満足度に重点をおき、生徒たちを支えていける存在になるよう、前向きに改善していきたい。

（基準6）

- ・松本校舎築 20 年が過ぎ、サイドシャンプー21 台、リアシャンプー20 台
理容シャンプー10 台分、夢シャンプー2 台の混合栓点検を行う。
- ・令和 7 年度 5 月理美容科 2 年生によるサロン実習を 3 日間行った。
- ・6 月 13 日松本消防署による校内「立入検査」が行われた。法令等の違反は無く、次回避難訓練の際には消防署への
連絡を促された。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より 適切に行われている。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より 適切に行われている。

今後の改善方策

シャンプー台等、施設設備の見直しの時期である。

（基準7）**総括**：令和 7 年度学生募集については、多くの入学希望者を確保することができた。

ひとえに、伝統校としての信頼感に加え、学校の雰囲気良さ。先生たちが大切に学生たちを育成
している点が選ばれた理由だと感じている。

今後はより一層県外流出防ぐ手立てと、時代に合った広報活動に力を入れていく。

- ・理容科、ビューティビジネス科への職業理解と入学動機を喚起して、入学生の確保に努める。
特に理容科においては、令和 7 年度入学生が増加したため、授業内容の工夫が必要である。理容支援サロン
との協力体制を改めて強固にしていく。
- ・ビューティビジネス科の学生数が伸び悩んでいる。現場の先生方と意見を出し合いながら、より一層ビュー
ティビジネス科の魅力を伝えていく必要がある。
- ・学生募集において、オープンキャンパスが最終決定の要となるため、内容をより興味を持ってもらえるよう、検討し
ていきたい。
- ・高校廻りを実施する準備を開始している。（9 月 10 月予定）
- ・今まで以上に高校生獲得に向けて、県外流出を防ぐ手立てを強化していく必要がある。その方策一環として、
山梨県、進路ガイダンス参加。新潟方面への進路ガイダンス参加強化している。
- ・マイナビ・リクナビの活用 A B N 高校野球甲子園イベント告知（5 月～8 月）
- ・本校希望以外対称+新潟地区美容系希望者対象 DM 発送（7 月～8 月）
- ・データ化準備開始 8/8 業者プレゼン予定
- ・新法改正による情報公開を HP 構築した。（6 月）
- ・2025 年度新パンフレット 4 月納品
- ・学園 HP 内容について、新しい業者（ながの小町）との打ち合わせを開始している
- ・広報内容について、時代に合った方法を構築していく。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

時代は変化してきている。合わせていく部分も必要である。マツビの人間力・コミュニケーション・伝統校と
しての魅力は、学生募集において武器である。継続して行ってほしい。

県外へのアプローチとして、名古屋・新潟方面にどんどんマツビを売り込むべきである。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

現状の学校としての魅力を活かしつつ、変化を敏感にキャッチしながら新しい方策も考えていくべきである。

今後の改善方法

今の学校としての魅力は強みとしつつ、時代に合った学生募集を工夫しながら行っていきたい。

本校卒業生の活躍、インスタ広告、入試方法、特待生など検討していく。

（基準8）継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

（基準9）継続して、問題なく実施できている。

- ・令和 8 年度 4 月より施行となる、文科省「学校教育法の一部改正」に関して長野県「学びの支援課」からの指示を伺
いながら、課題を明確に共有して進めている。（努力義務となっている関係者評価→第三者評価について）

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

今後の改善方法

自己評価をすることで、学校教育内容等を見直す良い機会となっているので、継続してより良い魅力ある学校にし
ていきたい。第 3 者評価となっていく時代である。引き続き協力お願い致します。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

- ・今年度で4年目となる専各連中信支部「いろんなお仕事体験会」を7月の「ヘアフェスティバル」との共催を含め、11月まで放課後の実施として予約を受け付ける。
- ・7月「浴衣イベント」へのお手伝いとして美容科2年生4名が参加する。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

今後の改善方法

ヘアフェスティバルのプチヘアショーで、高校生にモデル体験をしてもらい、好評であった。
継続していき、マツビ魅力を伝えていきたい。

2. 重点目標について (別紙1・2参照)

(1) 令和7年度重点目標実施中間報告

中間報告として、現時点で令和7年度重点目標の実施状況の報告

- 重点目標① 授業計画に沿った準備・指導・振り返りの改善
- 重点目標② 教師・講師・学生会との連携強化
- 重点目標③ 教師と学生との距離感を意識する

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

時代の変化に合わせつつ、マツビの良い特色を活かし、学習環境を整えながら進めていってほしい。変革の時である。イベント時にもっとインスタを活用すべきである。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

先生たちの努力は十分理解している。引き続き、学生たちに寄り添っていく教育をしていってほしい。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。
- ・重点目標に沿って、評価4を質の高い内容にするべく、努力していく。

3. 次回予定

令和7年度 第2回学校関係者評価委員会 令和8年2月20日(金) 13:30～